

「サイクルルート名称決定に向けた懇話会」における主な意見

【名称募集の工夫】

- 名称案の基準ではルートの特徴がわかりやすい、ルートの沿線地域をイメージできるとなっているが、大阪府・京都府民以外の方が投票することを想定し、イメージのわきやすいように、募集内容とあわせ、地域の特徴等を紹介すべき
- 名称募集していることが、サイクリストの目に届くように自転車の雑誌等に記事の掲載依頼をすべき

【名称選定】

- 4つのサイクルルート名称を並べたときのバランス（統一感）が必要
- 行政が名称案を作ると型にはまったものとなるため、自由意見でいただいたアイデアを活用すべき
- 複数の名称を決定した事例もないため、名称決定の判断は難しいと思うが、票数だけではなく、自由記述とのバランスをみて判断すべき
- 今回決定する名称と既存ルートが同じ名称になると誤解を招く
- 懇話会では、名称案を目安として3つぐらい選ぶのがいいと思う
- 「淀川」、「大和川」、「石川」、「大阪湾」が分かりやすい
- 今整備されている区間は泉州地域が中心であるため、「泉州」も候補としてはどうか
- 水の持つ優しさや癒しなどを考えると、ミドルネーム的に「リバーサイド」「ベイサイド」が入った名称を候補としてはどうか

【英語表記】

- 名称決定後に詳しく精査し、適切な英語表記とすべき

【語尾表記】

- 大阪府域のサイクルルートの語尾はサイクルラインが多く、「サイクルライン」がわかりやすい